

嘔吐者、此引作嘔吐恐誤。

〔伊呂波字類抄人體〕嘔吐ツタミ

〔醫心方二十五〕治小兒吐嘔方第六十三

病源論云、小兒吐嘔者、由乳哺冷熱不調故也、

〔病名彙解〕吐嘔 小兒乳ヲアマスコトナリ、字彙云、嘔以淺切、音衍、小兒嘔乳ナリ、五車韻瑞ニ、胡典切、此症ハ、乳哺ニ冷熱調ラザルニ因テノ故ナリ、

〔源氏物語 橫笛三十七〕この君いたくなき給て、つだみなどし給へば、めのともおきさわざ、うへもおほとなぶらちかくとりよせさせ給て、み、ばさみしてそ、くりつくろひて、いだきてゐたまへり、

〔醫心方二十五〕小兒變蒸第十四

病源論云、小兒變蒸者、以長血氣也、變者上氣、蒸者體熱、變蒸有輕重、其輕者、體熱而微驚、耳冷、髓亦冷、上脣頭白疣起如死魚目珠子、微汗出者、而近者五日乃歇、遠者八九日乃歇、其重者、體壯熱而脈亂、或汗或不汗、不欲食、食輒吐嘔、无所苦也、變蒸之時、目白精微赤、黑精微白、亦无所苦、蒸畢自明了矣、先變五日後蒸五日、爲十日之中熱乃除、變蒸之時、不欲驚動、勿令傍邊多人、變蒸或早或晚、依時如法者少、初變之時、或熱甚者、或達日數不歇、審計日數必是變蒸、服黑散、發汗熱不止者、服紫雙丸、小差便止、勿復服之、其變蒸之時、遇寒加之即寒熱交爭、腹痛交矯、啼不止、熨之則愈、變蒸與溫壯傷寒相似、若非變蒸、身熱耳熱、髓亦熱、此乃爲他病、可爲餘治、審是變蒸、不得爲餘治也、其變蒸日數出病源論、

〔病名彙解〕變蒸ヘンショウ 俗ニ云、小兒ノチエボトヲリナリ、生レテ三十二日メニ一變シ、六十四日ニ二變シ、ソノ時ニ蒸シテ熱氣ガアルナリ、一變シテ後、智惠ガ前ニ一倍スルト云リ、入門ニハ、十變ノ後ニ、六十四日ヲ一大蒸トシ、又六十四日ヲ二大蒸トシ、合テ五百十二日ニテ變蒸ヲハルト云リ、又醫學綱目ニハ、十八變ニテ五百七十六日ト云リ、諸方書ヲ考ベシ、語辭繁多ナル故ニ、コレヲ略